



甘楽中学校の取り組み 入学式、臨時休校、分散登校 そして学校再開！

第5回甘楽中学校入学式

春らしい暖かな陽ざしの中、「令和2年度甘楽中学校第5回入学式」が4月7日に体育館で行われました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、新入生と保護者そして職員だけと規模を縮小した形で行いました。新入生たちは、緊張しながらも堂々とした態度で式に臨んでいました。



感染防止対策の中での入学式



誓いの言葉

誓いの言葉 新しい仲間と新しい先生と一緒に、一歩ずつ前進します！

新元号「令和」の新入生である私たちは、3月突然の休校となりました。「悲しいこと、さびしいことが起きた後には、楽しいこと、嬉しいことが待っている。」そう思いながら、今日を迎えました。まだまだ先が見えない中、これからの中学校生活は、制服、教科の先生、自転車通学、部活動など、初めてのことがたくさんあり、不安もありますが、それ以上に期待でいっぱいです。甘楽中学校での3年間、一歩ずつ前進し、実りある中学校生活にすることをここに誓います。

分散登校を始める
5月中旬、群馬県の緊急事態宣言解除を受けて、生徒の健康状態や家庭での様子の確認と学習相談を目的とした「分散登校」を開始しました。生徒たちの元気な姿が学校に戻り、久しぶりに学校が明るい雰囲気になりました。

2年生スローガン
信頼され、尊敬される「先輩」をめざして～立志大成～

2年生になると、「先輩」になります。去年までは、私が先輩たちにとっても優しく分かりやすく教えてもらっていました。今年からは、私が教える番だから、自信をもって積極的に話しかけたいと思います。楽しく充実した1年間にしたいです。



距離感覚を養うために…

6月1日 学校再開!!

3月から続いていた「臨時休校」が終わり、6月1日、学校が再開しました。状況はまだまだ厳しく、感染防止に細心の注意を払ってのスタートです。今後、十分な配慮をしながら、生徒の豊かな学びを進めていきます。



↑朝の検温
感染予防のための横断幕→

3年生のめあて
最高の学年に。そして、「日本一の卒業式」を！

「今、そしてこれからの自分」
3年1組 小井土 楓雅

「全国一斉休校。」この体験から、私は「普段の生活ができなくなるかもしれない」ということを頭に入れ、今ある生活を「あたりまえ」だと思わず、一つ一つの行動を大切に生活していきたいと思えます。



一人1人時間差をつけての登校

2年2組 桐生 彩里
今私は、2年生になったという実感はまだあまり湧きません。でも、部活動や、委員会などが始まれば、1年生と関わるので、実感は徐々に湧いてくるのだと思います。これから「2年生」という自覚を持って、1年生の手下となる先輩をめざしたいと思います。

2年3組 小浦場 柚奈
この休校で感じたことは、毎日あたり前のように友人に会え、勉強ができ、給食をいただけることへの感謝です。また、自宅で生活する経験をして、改めて日々の学校生活の大切さがわかりました。学校が再開したら、学校生活一日一日を大切に過ごしたいと思えます。

3年2組 中野 咲希
今年の「全中」はなくなりました。私の最後の中体連はありませぬ。私はとても悔しいですが、感染拡大を考えると仕方ないと感じます。だから、私は、この気持ちを高校のインターハイにぶつけようという決意、進学に向けて勉強を頑張ろうと心に決めました。

3年3組 入山 力
休校期間は、僕にとってかなりの痛手でした。でも、「休校」というハンデは、日本全国の中学生にとつてほぼ同じのものです。だから僕は、これから一人一倍努力して、中学最後の3学年、この一年を充実させたいと思っています。



←授業風景
ソーシャルディスタンスを意識して



給食の片付けもマスクをつけて→

提言

利他の心



甘楽中学校
校長 飯塚 真琴

例年、甘楽中生に夏休み中にボランティア体験を推奨しています。しかし、今年は3密にならないことに配慮を余儀なくされることから、夏休み中の事業所さんでのボランティアは断念しました。

私は、今年も「他に善かれかし」(他の人に善なることをするのだ)を甘楽中の全校生徒に考えてもらいたいです。それは、自分自身が幸せになってほしいからです。

昨年「甘楽町さくらマラソン」にボランティアとして参加した生徒は、ゴールした選手に飲み物や記録証を渡す等の仕事を任せられました。渡す際に「お疲れさまでした。ご苦労様でした。」と一声かけて渡したそうです。すると、各選手から必ずと言ってよいほど「ありがとうございます。みんなもご苦労様です。」「みなさんがいてくれるから楽しく走れます。」「思いがけず返ってきたそうです。それから生徒たちは一層大きな声で爽やかにゴールした選手にあいさつをして手渡せたと感想に残っていました。家で弁当や夕飯づくりに挑戦した生徒たちは、家族に『おいしい』『また作ってね』『助かるよ』と言われて嬉しかった。また、作ってみたいですよとそれぞれに書いていました。

だからのために行ったことやボランティアですが、喜ばれたり、お礼を言われたり、感謝されたりして、結局自分がよい気持ち、良好な心の状態になっているのです。

今年も利他の心(他に善かれかし)を通じて自分の心の豊かさや幸せについて生徒たちと考えたいです。

甘楽中学校
校長 飯塚真琴
生徒 335人